

令和2年度

事業報告書

自 令和2年4月1日

至 令和3年3月31日

社会福祉法人カルスト会

令和2年度 社会福祉法人カルスト会 事業報告

今年度も新型コロナウイルス感染予防のため、利用者が楽しみにしていた、ご家族とのふれあい、地域の方々との交流の場である施設のメイン行事は中止した。

面会についても、所轄の保健所内での発症状況によって制限するなど、自由に外部の方と接触する機会がなくなり、利用者にはとても寂しく、ご家族にとっては自由に会えないことで不安等感じたことだと思います。

職員も今までとは違う感染予防に注意を払い、新型コロナ感染症ならではの自身の行動履歴を記録させ、また三密を避け全職員が集合する年度始め式も主任以上で行い、合同職員会も年度末に一度だけ窓を開け換気をしながら行った。

町内で発症者が出た際には関係者が濃厚接触者となった経緯から、コロナに対する感染対策を急遽とることになったが、法人内で発症することなく過ごすことができた。

運営面においては、利用者の定員割れが梶原みどりの家は近年続いている状況だが、今年度は梶原ふじの家で待機者が全くいない状態が続き、他施設、行政等に問い合わせ、近隣施設においても定員割れが生じている状況で、ある施設では、入所を希望する利用者に医療的行為の必要な方が多くおり、対象とならないとも話されていた。

梶原ふじの家の定員割れは年度末には解消し、入所待機者も確保することができた。

この状況から減収を心配したが、ゆい周辺外周舗装等の環境整備や、施設内に監視カメラの設置、両施設ともに積立金の計上もでき法人経営に大きな影響はなかった。

積立金については、必要とする職員を確保できず、当初計上した人件費を不用額として整理したことによる計上額となった。

職員は充足することは出来ず、今年度から定年を65歳に延長したが、年度内に60歳に到達する職員4名が全員依願退職をすることとなった。家庭の都合から臨時職員の退職もあった。

また、1年間臨時職員として雇用した後、職員として採用した職員が年度途中から休職することとなり、充足できてない状況下で利用者支援に影響が出ないように努めた。個人が抱えている問題には職場に関するだけでなくない場合もあり、関わり方が難しく、日頃からコミュニケーションが取れる雰囲気づくりを大切に、中長期計画の目標にも掲げた「風通しのよい職場環境づくり」は常に心がけていかななくてはならない。

規則の改正について、3年度からの組織改正に伴うこと、昨年度10月から報酬に加算された特定処遇改善手当を、今年度からは1年分支給することから、給与規則、人事管理規程等一部改正を行った。

昨年度から導入したパソコンの勤怠管理もほぼ軌道に乗り、業務省力化に向けたデータ管理についても、抽出し活用することができた。

1. 組 織

1) 理事名簿

令和3年3月31日現在

	役 職	氏 名	住 所	職 業 等	就 任 年 月 日
1	理 事 長	中 越 平	梶原町川西路 2281-2	団 体 役 員	H12.3.23
2	理 事	空 岡 則 明	梶原町六丁 140	会 社 役 員	H23.4.1
3	〃	岡 田 量	梶原町川西路 2357-7	無 職	H27.4.1
4	〃	岩 崎 悦 子	梶原町初瀬本村 112	職 員	H29.4.1
5	〃	熊 岡 健	梶原町永野 290	職 員	〃

2) 監事名簿

令和3年3月31日現在

	氏 名	住 所	職 業 等	就 任 年 月 日
1	山 口 敏	梶原町文丸 648	農 林 業	H24.4.1
2	矢 野 豪 佑	梶原町上折渡 137	団 体 役 員	H25.4.1

3) 評議員名簿

令和3年3月31日現在

	氏 名	住 所	職 業 等	就 任 年 月 日
1	矢 野 敬 明	梶原町上折渡 128	農 林 業	H29.11.8
2	西 村 正 義	梶原町仲洞 4884	建 築 業	H29.4.1
3	松 山 栄 喜	梶原町大向 305	農 林 業	〃
4	中 越 計 清	梶原町川井 7206	〃	H28.5.25
5	宮 本 友 和	梶原町梶原 1325-1	自 営 業	H27.4.1
6	神 明 靖	梶原町東川 123	会 社 員	H24.12.1
7	沖 田 佳 久	梶原町川口 5963	自 営 業	H29.4.1

4) 職員構成

令和3年3月31日現在

職名 施設名等	事務局長	所属長・補佐	事務員	支援専門員	サービス管理責任者	相談員	機能訓練指導員 ・機能訓練員	管理栄養士	栄養士	看護師	介護員	計
本部	1		2									3
居宅介護支援事業所		兼		2								2
梶原みどりの家		1			2 (嘱1)		1		1	4 (ハ→ト1)	41 (嘱3) (臨時7) (ハ→ト5)	50 (嘱4) (臨時7) (ハ→ト6)
特定相談支援事業所		兼		1								1
梶原ふじの家		1		2		2 (嘱1)	1 (嘱1)	1		6 (臨時1) (ハ→ト1)	44 (嘱1) (臨時3) (ハ→ト10)	57 (嘱3) (臨時4) (ハ→ト11)
合計	1	2	2	5	2 (嘱1)	2 (嘱1)	2 (嘱1)	1	1	10 (臨時1) (ハ→ト2)	85 (嘱4) (臨時10) (ハ→ト15)	113 (正78) (嘱7) (臨時11) (ハ→ト17)

職員の異動

	氏名	異動年月日	所属・職名
採用	河野 沙紀	令和2年4月1日	梶原みどりの家介護員
	森山 由希		梶原ふじの家介護員
	杉本 裕之		梶原ふじの家介護員
	前田 美和	令和2年10月1日	梶原ふじの家介護員
	中平 黎音		梶原ふじの家介護員
依願退職	中山 由子	令和3年3月31日	梶原ふじの家介護係長
	河野 加代		梶原ふじの家看護係長
	中越 靖		梶原みどりの家機能訓練指導員
	田邊みどり		梶原ふじの家生活相談員

2. 理事会・評議員会・監査

(1) 理事会 3回、評議員会 1回 開催

(2) 監査

①内部監査

法人監事による決算監査及び3ヶ月に1回の内部監査を実施して、法人の健全な経営に努めた。(年間4回実施)

②高知県地域福祉部福祉指導課による監査

◎【法人本部】 無し

◎【梶原みどりの家】 集団指導

◎【梶原ふじの家】 無し

令和2年度 カルスト会居宅介護支援事業所 事業報告

令和2年度の月平均請求件数については、昨年度の64件から6件多くなり70件を若干超える実績となった。

新規利用者については昨年度の23名に対し28名と若干増加している。

また、施設に入所された方は昨年度の21名から18名となっている。

介護度別の内訳としては昨年度と同じく要介護度1・2といった軽度者が大半を占めており、全利用者で要介護度3から5の重度者の割合が、初めて30%を割り込む結果となった。

このことの大きな要因としては、特養栲原ふじの家が空床となり待機者がなく、入所し易い状況が続いたことが一因と考えられる。

コロナ禍で三密を避けることから、訪問に関して不安を抱くこともあったが、滞りなく業務を遂行することができた。

要介護度別利用状況

サービス種別ケアプラン作成状況（延べ人数）

単位：人

	要介護度					計
	1	2	3	4	5	
デイサービスゆりり	258	200	98	61	32	649
デイケア	12					12
訪問介護	93	37	39	3	22	194
訪問看護						0
訪問リハ		22	25	10	1	58
福祉用具貸与	84	185	97	63	45	474
特養ふじの家短期入所	56	92	55	35	18	256

要介護度別ケアプラン作成状況（実人数）

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	26	19	13	5	4	67
5月	26	20	12	5	4	67
6月	27	19	13	5	4	68
7月	28	21	12	6	4	71
8月	27	22	12	5	4	70
9月	30	23	12	7	4	76
10月	29	22	12	9	4	76
11月	30	23	10	6	4	73
12月	29	22	10	6	5	72
1月	29	21	10	6	5	71

2月	28	22	10	4	4	68
3月	25	26	10	4	4	69
平均	27.8	21.7	11.3	5.7	4.2	70.7

平成 31 年度 平均 64.3 人

令和2年度 障害者支援施設梶原みどりの家 事業報告

今年度は施設運営全般について、昨年2月末からの新型コロナウイルス感染症対策の長期化により、施設行事・活動の縮小や中止をしたほか、利用者には本当に楽しみにしている外出の延期や中止及び出先・時間制限をすることになり、『いつまで待ったら、次はいつから前のようにできるようになるの。』の利用者の思いに対し、確実な時期や日が判断できなかったことは悩ましい限りであった。また、利用者の家族や関係者には施設感染対策について理解と協力を得る中、面会回数・時間制限をするなど、大変不便を掛けた。更に取引業者の出入も制限し、利用者及び職員からこれまでに新型コロナウイルス・インフルエンザの発症者は出していない。終末の見通しが立たない現状において、今後についても施設感染対策については、利用者及び職員から感染者を出さないよう慎重な判断・対策等を講じて行くほか、適時に文書や電話等で情報提供・連絡対応に努めます。

施設利用契約内容の一部変更に伴う契約更新の事務手続きについては、皆様に適切に対応していただき、滞りなく終えることができた。

利用稼働率は、利用者の確保が一定できたことで、3事業（生活介護・施設入所支援・短期入所）について昨年度の実績を上回った。また、施設利用状況の情報発信では、ホームページ及び高幡5市町に対する毎月の施設入所者状況報告において、市町村別利用者数・空床状況の情報やパンフレットの添付を行ったほか、公開情報の更新も適時行った。

施設のハード整備では、高齢化や疾病の重症化、障害の重度化への対応など、直接介護・支援の内容・時間量の増加、業務上の情報量の増加は変わらずあり、新型コロナウイルス対策下でも出来る限り通常に近い状態で機能し得る業務の見直しや工夫、省力化・効率化を目的に、記録システムを新たに見直したほか、無線LAN環境を整備しタブレット機器を「高知県感染対策徹底支援事業」により導入した。

専門知識の習得や施設ノウハウの向上を目指した外部研修等への参加(OFF-JT)は、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大及び感染リスクが高いことから、ほとんどの計画が中止となったことや一部はウェブ会議方式となり、計画通りの実施にはならなかったが、関係資料や情報については相互にやり取りを行う中で収集し、職員への伝達・報告・提供に努めた。

中期事業計画(第2年次)の重点取り組み「サービスの質の向上」については、職員評価結果及び委員会の検証から、質・ノウハウ的にアップした結果となった。このことは、利用者本位・主体性の大切さの職員意識、自ら考え行動することができている業務状況が一定あること、人間関係性の一定の改善や充実が業務遂行や職場環境に良く影響したことが言えるという内容であった。

苦情相談員(第三者委員)について、今年度で任期満了となる中平俊一氏について、平成22年度から長く務めていただいている中で、引き続き次年度から2年間(7期目)務めていただくことになった。

1. 施設利用状況（令和2年度）

1) 利用者状況

在籍者数	性別	前年度末	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
人数 (月末)	男	50	50	50	51	51	51	49	50	50	50	49	49	49
	女	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
合計		77	77	77	78	78	78	76	77	77	77	76	76	76
内訳	入所	男	2		1				1					
		女	0											
	計	2												
	退所	男	▲3						▲2				▲1	
		女	0											
	計	▲3												
増/減(▲)		▲1	0	0	1	0	0	▲2	1	0	0	▲1	0	0

2) 入退所者の内訳

	入所前 退所後	人数	内 訳
入所者	病 院	0人	
	施 設	2人	高知ハビリテーリングセンター 大方生華園
	計	2人	
退所者	病 院	0人	
	死 亡	3人	虚血性腸炎 ⇒ 看取り(病院) 急性心不全 循環血漿量減少性ショック
	計	3人	

3) 市町村別利用者数

令和3年3月31日現在

県 内	市町村	人数		県 外	市町村	人数	
		男	女			男	女
高知県	高知市	10	1	愛媛県	宇和島市	3	2
	香美市	1	0		西予市	1	0
	香南市	0	1		今治市	0	1
	安芸市	1	0		愛南町	3	1
	土佐市	1	0		鬼北町	1	0
	四万十市	1	0	愛知県	小牧市	0	1

	宿毛市	2	1	鳥取県	鳥取市	1	0
	奈半利町	1	0	県外計		9	5
	いの町	1	2	合 計		49	27
	佐川町	1	0				
	土佐清水市	1	2				
(高幡圏)	須崎市	1	0				
	四万十町	1	0				
	中土佐町	4	6				
	津野町	4	1				
	梶原町	8	5				
県内計		40	22				

平均年齢		最高齢	最年少
男性	55 歳	81	20
女性	64 歳	87	39
全体	59 歳		

4) 生活介護・施設入所支援

単位：利用延人数

事業	開所日数	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
生活介護	261			2,290	3,167	3,529	10,749	19,735
施設入所	365			3,202	4,432	4,937	15,031	27,602

◇稼働率

R2 年度	生活介護（定員 80 人）		施設入所支援（定員 80 人）	
	94.5%	75.6 人／1 日	94.5%	75.6 人／1 日
前年度	生活介護（定員 85 人）		施設入所支援（定員 80 人）	
	92.1%	73.8 人／1 日	92.1%	73.7 人／1 日

5) 短期入所

(須崎市・津野町・梶原町)

区分	開所日数	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
日数	365	0	73	66	182	0	11	332

◇稼働率

年度	短期入所（定員 8 人）	
R2 年度	11.4%	0.9 人／1 日
前年度	7.4%	0.6 人／1 日

6) 日中一時支援事業

利用実績なし。

7) 入所者状況

◇年齢別構成

令和 3 年 3 月 31 日現在

19 歳以下	20～24 歳	25～29 歳	30～34 歳	35～39 歳	40～44 歳
0 人	2 人	0 人	0 人	4 人	2 人

45～49 歳	50～54 歳	55～59 歳	60～64 歳	65～69 歳	70 歳以上
4 人	8 人	10 人	17 人	9 人	20 人

◇障害支援区分別利用者数

障害支援区分	軽度		最重度 (前年度)				計
	1	2	3	4	5	6	
男			8	7	10	24	49
女			1	5	4	17	27
計			9	12	14	41	76
比率 (%)			11.8%	15.8%	18.4%	53.9%	100%
						平均障害支援区分	5.1 (5.2)

令和2年度 カルスト会特定相談支援事業所 事業報告

今年度の計画相談支援サービス契約件数は、新たに4件の契約締結(施設入所者1名、就労継続支援1名、居宅介護1名、短期入所1名)、4件の解約(施設退所者3名、支給取消による契約終了1名)があり、年度末の契約件数は82件、内16件は地域のサービス利用をしている障害者となっている。

サービス利用計画作成31件、モニタリングは143件の実績となった。共に件数が当初計画より増えた理由は、契約者の増、施設入所等に伴う市町村から当事業所への移管あったことによるものです。

今年度は、例年に増してモニタリングに係るアセスメントほか、事業者・町担当課との調整・相談対応が多くあり、内容的にも苦慮した1年であった。事例では、サービス利用を本人の意思により中止した場合や利用実績がない、心身の不安定による事業者とのトラブル、精神面の不安定や病状の改善が見られずサービス利用をしないなど、様々なことが原因で安定した生活につながらないといった事例があった。このことは、障害による認知力不足や低下または障害特性によるということでも評価するだけでなく、障害者本人との信頼関係づくり、サービス利用や日常生活に関し事業者間・職種間の情報共有と連携を更に密にして行くことが必要であると振り返る。

現状としては、地域の限られた資源の状況、専門機関・医療等に頼らざるを得ないことも踏まえ、今後も可能な限り障害者の安定した日常生活とサービス利用・継続に向けた支援に取り組んで行く。

1. 利用契約・サービス利用計画・モニタリングの実績

◇相談支援契約(前年度末:82件)

	契 約		サービス利用計画			モニタリング			訪問件数
	新規	解約	入所者	地域	計	入所者	地域	計	
R2									
4月	0	0	3	1	4	11	5	16	21
5月	0	0	5	0	5	6	1	7	10
6月	0	0	3	0	3	12	1	13	24
7月	0	0	10	1	11	5	1	6	10
8月	2	0	3	1	4	3	0	3	5
9月	0	2	0	1	1	11	5	16	18
10月	0	0	2	0	2	13	8	21	23
11月	0	0	0	0	0	10	2	12	12
12月	0	0	0	0	0	18	2	20	21
R3									
1月	1	2	1	0	0	10	1	11	13
2月	1	0	0	0	0	3	2	5	7
3月	0	0	0	0	0	11	2	13	20

合計	4	4	27	4	31	113	30	143	197
契約 件数	82		施設入所：66件 地域：16件（就労継続B型、居宅介護、短期入所）						

2. 業務活動等

日付	内容	開催地
令和2年6月30日	第1回高幡相談支援連絡会	中土佐町
令和2年8月7日	令和2年度 第1回梶原町障害者自立支援協議会（拠点整備）実務者会	梶原町
令和2年11月9日	障害福祉計画 実務者会	梶原町
令和3年1月18日	令和2年度 第3回梶原町障害者自立支援協議会（拠点整備）実務者会	梶原町

令和2年度 特別養護老人ホーム梶原ふじの家 事業報告

施設運営面では、待機者「ゼロ」の状態が11月下旬から1月下旬までの約2ヶ月間続き、利用者が満床にならない期間があった。短期入所事業では、利用が後期には徐々に増加し、冬期のみ利用及び本入所になるまでとの理由で長期利用者が多かったが2月から再び減少した。このことにより年間を通じ利用者数の減少となり当初の見込みを下回った。

昨年度から続く新型コロナウイルス感染症については、新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金により、感染対策で設備面の強化、職員には慰労金の支給を行った。また職員にも普段の生活から感染症予防の徹底と日々の行動履歴を記入すること、また施設に持ち込まないことを意識してもらい、出退勤時にも検温・手洗い・嗽を徹底して予防に努めた。

家族には、昨年度から継続しての面会制限や敬老会等の各種行事にも家族の来所を中止し、ボランティアについても立ち入りを制限し、規模を縮小して開催することとなり、その事は利用者、家族には寂しい思いをさせる事になった。その中で、利用者が家族に会えない思いを職員がくみ取り、ひと時でも楽しんでもらうために、各グループ等で意見を出し合い行事を企画・開催したことは、考え行動できる職員への成長に繋がった。

今年度は施設での看取りが多かったが、感染対策を取る中で家族に制限なく面会できる居室を準備し、職員も利用者、家族の思いに沿うために、居室環境に気を配り、身体面では毎日の入浴、時にはレクリエーションや散歩等を行い気持ちのこもった援助することにより、家族から最後には感謝の言葉を頂く事ができた。

職員については、今年度職員4名、パート2名の退職があり、パート1名は雇用できたが、今後も現状で対応していかなければならず、各部署間で連携を取りながらサービスの維持・向上に努めていかなければならない。

中長期事業計画は2年次に入り「サービスの質の向上」を目標にして取り組んだが、外部研修についても新型コロナウイルス感染症の影響により、4月から8月にかけて研修中止が続いた。その後は徐々に研修受講も出来るようになり、またオンラインでの研修も受講できる環境を整備した。

施設内でも研修会を開催し、その事により職員の意識も少しずつだが高まり、「サービスの質の向上」に繋がった。しかし、最も重要で基本的な接遇については、今後も改善する必要があり、施設内外で研修会に参加し向上させていかなければならない。

地域交流についても、いきいきふれあい地域活動事業（東区2回）はコロナ禍での開催となり、昨年より少なかったが参加し交流を深める事ができた。

今年度は年間を通して新型コロナウイルス感染症の影響を受け、利用者、家族、地域にも迷惑を掛ける事となったが、今後もコロナ禍であることは変わらず続くと思われることから、今年度のように、感染状況によって考えをめぐらせ対応するようなことでなく、利用者、家族ともに安心してもらえる援助ができるよう努力しなくてはならない。

1. 利用者生活状況

1) 市町村別入退所状況・年度末入所者数（人）

市町村		梶原町	高知市	須崎市	津野町	計
		入所	男	13	0	0
	女	11	0	0	0	11
	計	24	0	0	1	25
退所	男	6	0	0	0	6
	女	16	0	0	3	19
	計	22	0	0	3	25
3月末日人員	男	23	0	2	1	26
	女	52	1	0	1	54
	計	75	1	2	2	80

2) 介護度別一覧（人）

要介護度 3	30
要介護度 4	33
要介護度 5	17

令和2年度 平均介護度 3.84
(平成31年度 平均介護度 3.95)

令和2年度 年間在所延日数 27,949 日
(平成31年度 年間在所延日数 28,153 日)

3) 入院・外泊等状況（請求ベース）

延日数	1562 日
月平均	130 日
一日当り	4.3 人

4) 入退所状況（人）

入所	自宅より	13	
	病院より	8	梶原病院 (4)・朝倉病院 (2)・ちひろ (2)
	他施設より	4	生活支援ハウスゆるり・ケアハウスゆるり・老健あけぼの・ケアビレッジ高岡
	計	25	
退所	死亡	22	施設看取り 9 名・梶原病院 9 名・施設急変 4 名
	その他	3	入院継続 3
	計	25	

5) 男女別年齢構成

令和3年3月31日現在

以上 未満	55 ～ 60 歳	60 ～ 70 歳	70 ～ 75 歳	75 ～ 80 歳	80 ～ 85 歳	85 ～ 90 歳	90 ～ 100 歳	100 歳 以上	合計 (人)	構成比 (%)	最高 (歳)	最少 (歳)	平均 (歳)
男	0	2	2	1	7	7	6	1	26	32.5	105	66	85.3
女	0	0	3	1	2	14	32	2	54	67.5	105	71	91.1
計	0	2	5	2	9	21	38	3	80	100			89.2

6) 短期入所利用状況 (1日平均6.7人)

※延日数保険外利用含む

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
実人員	20	22	23	22	22	23	21	23	23	23	18	22	262
(内予防)	(0)	(0)	(2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(1)	(0)	(1)	(4)
(保険外)	(1)	(1)	(0)	(1)	(1)	(1)	(1)	(0)	(1)	(5)	(5)	(1)	(18)
延日数	155	182	168	187	205	231	192	193	231	308	227	173	2,452

平成31年度 平均7.1人 年間2,594人